

きくち

菊地靖枝 前区議会議員

練馬・生活者ネットワーク

練馬・生活者ネットワークは暮らしの中から生まれた声を政治に届けるために活動している市民の政治団体です

やすえ

レポート2

都政を
変える

■練馬・生活者ネットワーク
きくちやすえの活動を紹介します。

生活者ネットワークの ルール

**議員報酬は
市民の政治活動資金に**
議員報酬は市民の政治活動資金に活かせます。お金の流れは公開します。

**選挙はカンパと
ボランティアで**
お金(カンパ)と知恵、労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

**議員は交代制
(ローテーション)**
生活者ネットワークの議員は、議員を職業化、特権化せず、議員は原則2期(8年)で交代します。任期を終えた議員は、市民政治のためにその経験を活かします。

生活者ネットワークは
きくちやすえと
共に活動しています



練馬区議会議員
きみがき
圭子

練馬区議会議員
橋本
けいこ

練馬区議会議員
やない
克子

交代した私達も一緒に活動しています



元都議会議員
山口文江

元区議会議員
吉川みさ子

元区議会議員
橋本まさ

「保活」傾向と対策 だれのための「ほかつ」?



子育て支援補正予算は
126億800万円
待機児童5000人分

都は、3つの柱とした待機児童解消に向けた緊急対策に税金を投入し5000人分の補助を確保しました。保育所等整備に80億4300万円、利用者支援の充実に26億7400万円、肝心な人材の確保・定着の支援には18億9200万円だけです。国の調査では初めて、「出産後も仕事を継続する」ことに賛成の人が50%を超え、「働く」と「子育て」の両立支援に、待ったなしの対策が求められます。

保活はいつから?

練馬区の保育園に4月の入園を目ざす場合、説明会は10月下旬より開始、1次申込み受付が11月1日~12月2日です。預けたい保護者の状況(正規・非正規・就活中・家族環境など)を指数化し、点数が高い順に募集予定人数2660人が内定します。満点は42点で、同点の場合は所得の低い世帯が優先です。入りやすくするために、出産時期の調整をも考えないと...となると、笑えるはなしではありません。

「保育の質の充実」と 「ひとりにしない子育て」

認可保育園・地域型保育事業・認定こども園・練馬こども園・認証保育所等認可外保育施設、希望通りの預け先がある保護者は何人いるでしょうか。預け入れ先が決まったとしても、子どもの安全が確保されていますか? 部屋は狭くないか、保育士一人で何人の子どもを見ているのかなど、保育の質は重要です。信頼できるママ友同士のお互い様、なかま保育、地域で育てる子育てなど、コミュニティ力が活発なら選択肢も増えていきます。保育士の待遇向上などの安心して預けられる環境づくりや孤立しやすい子育てをサポートし、不安を解消することが大切です。地域にある空き家や経験豊かな人材を活かし、子育てを支える地域づくりに取り組みます。

<http://kikuchi.seikatsusha.me>

空き家 ワークショップ



区議会議員在職中、2012年9月に実施した「空き家のまち歩き調査」から、福祉の拠点づくりなどに活用する支援を区に提案。2016年10月、地域で活動している仲間と「空き家の活用について」のワークショップに参加。多様な世代が交流できる居場所づくりに何が必要かを話し合った。

食の 安全・安心を



豊洲新市場。

都議会生活者ネットワークは9月13、14日に視察。写真は水産卸売場棟。青果棟地下の地下水はカビ臭がした。

小池都知事は盛り土問題の責任者として退職者を含む都職員18人を確定させました。移転の判断は地下水の安全性や建物の耐震性の検証と環境アセスメントの結果で決まり、早くても2017年冬～2018年春になります。都の無責任なガバナンスにより、完成までに5884億円もの税金を投入する上に、延期中の豊洲市場光熱費が年間18億円超、市場関係者の補償金、そして安全対策のために必要な追加工事など費用が膨らみます。都民と市場関係者をふりまわしているこの問題の解決が急がれますが、豊洲移転ありきではなく、食の安全を最優先に慎重な判断を求めます。

練馬・生活者ネットワーク きくちやすえの 提案

- 「ひと」が大切にされるまちづくり
- 貧困が連鎖しない社会の実現
- 誰もが学び直せる社会を
- 女性や若者の雇用の安定
- ひとりにならない子育て・介護
- 高齢者・障がい者・妊産婦・子どもの視点で減災のまちづくり
- リユース・リデュースでゴミを減らす
- 原発に頼らない再生可能エネルギーを地域でつくり、地域でつかう
- いのちと平和を基本に
- 女性の視点で議会を変える議員特権をなくす

「女は女に生れるのではない、女に生るのだ」社会の意識を変えることは容易ではないが、誰かが自分らしく生きられる生活のまち東京をめざします。きくちやすえ



菊地 靖枝 ● きくちやすえ プロフィール

■1963年 生まれる ■1975年 練馬区立関町小学校卒業 ■1978年 練馬区立石神井西中学校卒業 ■1981年 都立荻窪高等学校卒業 ■1985～87年 広告制作会社勤務 ■1996・97年 生活クラブ生協関東支部委員長 ■2002年度、2004年度 区内小、中学校PTA役員 ■2005～2007年 練馬区・東京都のママさんバレー審判部に所属 ■2007～15年 練馬区議会議員(2期) ■2015年 都議会生活者ネットワーク政務調査会スタッフ ■2016年 現在 東京・生活者ネットワーク政策委員、東京コミュニティパワーバンク理事

現在の地域活動など／小学校図書ボランティア、市民のエネルギーひろば・ねりま、核・原発のない未来を子どもたちに@練馬

家族構成：夫、子ども(成人)2人 趣味：バレーボールがエネルギーの源 関町北在住

カンパはこちらに
お願いします。

カンパ振込先

【郵便振替】00100-6-398010 練馬生活者ネットワーク